

梶原町社協だより

# ゆすまいる



**第15号**

(平成29年3月)

目次

- 地域福祉コーディネーター事業活動報告・・・・・・・・・・1~2P
- 地域福祉活動計画について／
- ゆすはら複合福祉施設設立準備室より・・・・・・・・・・3P
- ちょっと聞いてや～ ～みんなに知っちょいてもらいたい～・・・・・・・・4P
- 輝く梶原人！み～つけたっ！・・・・・・・・・・5~6P
- 掲示板（赤い羽根共同募金活動報告）



# 地域福祉コーディネーター事業 各区活動報告

平成28年度は、6地区でコーディネーター活動を展開させて頂きました。各地区でお力添え頂きました皆様に感謝申し上げます。

## 西区

玉川富美恵



地域のお悩みの中から【粗大ごみの収集車が昔のように回ってこない】という意見を取り上げ、地域でできる仕組みを検討する座談会を行いました。

問題点としては、日程・料金・労力が挙げられました。そこで、竹の藪では定例会時その他の件で必ず困りごとや心配事（粗大ごみなど）の有無を独居高齢者や、車をもってない方を主な対象者とし、依頼があれば、地域近隣で対応して行く事になりました。

また、本年度は居場所づくりにより各地域で取り組んできました。例えば

上成・松谷では、いきいきの参加者が自主的に昼食作りを行い、いきいきのPRも兼ね、高齢者の集いの場を増やしていく為の検討会を実施しました。

また、上西の川では、女性のおしやべり会として、米なす料理を作り近隣地域にも声掛け笑顔あふれる集いの場となりました。

今後も、それぞれが役割を持ち、集う事の大切さを共有しながら【住み続けたい】と思えるような地域づくりを皆さんと共に考えてまいります。

## 四万川区

中越誠



本年度は戸別訪問を軸に座談会の開催や、四万川いきいき交流会へ参加させて頂きました。因みに、この座談会での事案の中には、関係機関へつながったことで設備が改修された例もあります。他では、茶や谷・文丸・坪野田地区において共同募金の助成金を活用した活動（「虫送り」という祭事のPR活動の検討、そば打ち体験を通して

地域の交流を図る取組など）が行われました。また来年度も、全てのお宅へ訪問させて頂いたく予定ですが、

気になることや、不安なこと・心配なことなどありましたら、いつでも気軽に声を掛け下さい。これからの地域に必要なことや、地域でできることなどを、地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。



## 初瀬区

前田京子



初瀬区は平成28年度からコーディネーターが入らせていただいています。この度、座談会の中で影野地から【二次避難所であるお堂を修繕し、地域の集いの場にしたい】と

意見が出たことから、影野地部落の住民で改修していくことになりました。この改修には地区の老人クラブ会員も参加し、集いの場の活動資金として赤い羽根共同募金を利用するなど、地域の共助・公助を活用して『自分らで出来る事』に取り組まれています。また、他の部落でも「住民の集まる場を設けたい」との声を複数いただきました。座談会などで集まっていたことがきっかけとなり、新たな試みにつながっている手ごたえを感じています。今後も地域訪問や部落での集まりに参加させていただき、住民の皆様と一緒に初瀬の事を考えさせていただければと思います。



## 東区

芝田浩之



東区では、人と地域を知るために、民生委員さんと同行訪問をしたり、気になる方へ戸別訪問を行ったりしています。また、他の区に住んでいる方からも相談を受けることもあり、まだまだ知らないことがたくさんあることに驚かされます。その他にも、いきいきふれあい広場やミニいきいきにお誘いいただいたりしました。また、高知県立大学生が地域学実習で梶原高校生と梶原町の魅力について一緒に考える機会を持つお手伝いをさせて頂きました。若い人たちの自由な発想とアイデアは大人では思いつかないようなものがあり、大変刺激にな

りました。来年度も様々な機関と連携して、地域の魅力づくりに取り組みたいと思います。今後、各部落から出していただいたワークシートを基に、地域づくりのご意見を伺っていますので、ご協力をよろしくお願いたします。

## 松原区

宇賀文里



松原区は、自分たちでいきいき100歳体操に取り組んだり、ゲートボールやグラウンドゴルフなど、地域の方主体で積極的に健康づくりに取り組まれていました。そんな中、地域で子どもたちを育むことを目指して、松原郵便局や地域の方々と一緒に、久保谷部落で高

校生までを対象にした勉強会を行いました。梶原で塾講師をしている先生に、今回は特別ボランティアで講師をして頂き、勉強を教わりました。また、地元の新社会人の先輩からの講演を交え、子ども達が将来のことを考える契機となりました。頑張る子どもたちを、地域の大人の方々も一緒に見守り、普段とは違う子どもたちの様子を見る機会にもなったそうです。今後も、地域でのつながりを大切にしながら取り組みを行っていききたいと思えます。気になることがあれば気軽にお声掛けください。

## 越知面区

西村悠



今年度より越知面区に入らせていただき、まずは「地域・人を知る、社協のことを知ってもらう」ことを目標に、区長をはじめ民生委員さん、地域の皆さんなどに教えていただきながら、訪問や行事参加などを通して、地域の皆さんと関わりお話を伺いました。声をかけてくださる方が増えたり、老人クラブ行事を越

知面で開催した時には地域の皆さんに協力や励ましをもらい越知面の方々の温かさを感じました。また、下本村と井の谷では座談会を開催し、「地域で自分らができること」を考え、思いを共有することができました。短い時間でしたが、良い意見がでて、皆さんからもやってみようという声も聞くことができました。今回出た意見をもっと深めていけるように、地域の皆さんと関わっていききたいです。皆さんの思いを大切にしながら、一緒に地域のことを考え、「越知面に住んで良かった」と思える地域を皆さんと作っていききたいと思えます。未熟な私ですが、地域の皆さんの身近な存在になれるよう頑張ります。今後もよろしくお願いたします。







# ちょっと聞いてや〜 〜みんなに知っちゃいてもらいたい〜

## 無料法律相談会を開催しました

※この事業は、「赤い羽根共同募金事業」を活用しています。

1月20日金曜日に、梶原町保健福祉支援センターにて、今年度2回目となる、弁護士による無料法律相談会を開催いたしました。今回の相談会には須崎ひまわり基金法律事務所から深田健介弁護士、法テラス須崎法律事務所から、大橋正人弁護士、高井雅秀弁護士にきていただきました。相談に来られた方が、今より少しでも問題解決に向けて歩みだせるよう今後も弁護士会と連携し相談会などを実施していく予定です。



次回は、4月15日に遺言についての相談会を行う予定です。ぜひ、ご参加ください。

※ 詳しくは、チラシをご覧ください。

担当：芝田

## にちじょうせいかつじりつしえんじぎょう 日常生活自立支援事業

高齢者や障害をお持ちの方などが、福祉サービス利用や金銭管理など日常生活に必要なことについて、自分ひとりで判断することが難しくお困りの場合に、安心して日常生活が送られるように社会福祉協議会がお手伝いします。

お手伝いします



こんなことで困っていたら・・・

・・・こんなお手伝いができます

福祉サービスをどんなふうにご利用したらいいか【わからない】

ご自身にあったサービスを一緒に考えます。

お金を計画的に使うことが【難しい】預貯金の出し入れや公共料金などの支払いが【一人でできない】

預貯金の出し入れや公共料金の支払いなどの日常のお金のやり取りをお手伝いします。

通帳・印鑑の保管場所を【忘れる】証書や実印等の【保管が心配】

定期預金証書や実印などの重要な書類を保管します。

※ご相談は、民生委員・地域包括支援センター・社会福祉協議会まで  
担当（宇賀 TEL65-1235）

## 地域福祉計画と地域福祉活動計画



保健福祉支援センターと連携して取り組んできました「梶原町地域福祉計画」と「地域福祉活動計画」の策定作業が大詰めとなりました。

各地域では少子高齢化や若年人口の減少など、集落活動自体が難しくなってきた地域もあり、地域の状況やそこに暮らす人々の想いを共有する場も少なくなっています。今回の計画策定にあたっては、地域の皆さんの想いをワークシートで「見える化」し、それを基に部落単位の座談会を通して、地域の声を聴かせていただきました。座談会を通して感じたのは、「地域への愛着」。多少の不便はあっても住み慣れた地域で暮らし続けたい、地域の先輩が守ってきたものを次へつなぐ、皆が寄り合うて助け合おうて、そういった声が多く聴かれました。地域のつながりを強くしようと、独自の避難訓練や、集いの場など具体的な動きを計画され実行され始めているところもあります。

今回、地域の事情もありワークシートの話し合いができなかったところでも、座談会の呼びかけをして参ります。また、地域の小さな声、課題を受け止め、人と人、地域、行政をつなぐ地域福祉コーディネーターの活動に更に注力して参ります。



ゆすはら

複合福祉施設

設立準備室より

お知らせ

視察研修の実施②

働き方改革

一月以降、新たに3施設の視察研修を行いました。各施設の皆さまからお話しを伺う中で、一番大きな課題として挙がるのが、職員確保に関する事です。介護現場は、ご利用者様の日常生活に密着したサービスを行うものであり、日々の変化に柔軟に対応できる、



▲ 特別養護老人ホーム  
コスモスの里 内装

安心と安全を兼ね備えた高度な技術が求められる職場です。

せっかく介護福祉士養成校を経て介護職員となっても離職する方も多く、近年は少子化も影響し、介護職を希望する方も減少傾向にあります。さらには、職場内の環境や処遇についても、厳しい現状から、転職を希望する方が多くなっています。こうした背景から、離職率の低下に向けてさまざまな取り組みがなされており、日高村の特別養護老人ホームコスモスの里では、施設内にキッズルームを設置しています。これは、子育て中の職員が職場内研修等に参加する



場合に、子どもと一緒に出勤できるように配慮したものです。また、職員同士のコミュニケーション力の向上を図るため、職場外でのレクリエーション活動を積極的に推進しています。現在、国においても働き方改革について提言がなされており、サービスは人から人へ生み出されるものであり、職場としてのあり方や考え方が大きく影響してきます。時代背景や環境的な要因を考えながら、今日的な働き方について、改めて、考えていくことが必要かもしれません。

### 【お問い合わせ】

社会福祉法人梶原町社会福祉協議会  
施設設立準備室  
(担当) 立道・山田  
電話 0889-65-1236  
FAX 0889-65-1237



# 輝く梶原人！み～つけたっ！！

in 西区

in 四万川



にしむらさだ お  
西村貞雄さん(91)  
大正15年生まれ

にしむらあきこ  
西村昭子さん(88)  
昭和3年生まれ

結婚生活70年4人の子宝にも恵まれ仕事を生きがい夫婦二人三脚で西村林産製材工場勤務。近頃は、地域の応援団やってます。



上西の川部落の元気で仲が良いご夫婦、地域のイベントにも積極的に協力し、いつも地域のことを応援されている西村さんご夫婦にお話を聞きました。



## みんなで仲ように助け合い、 楽しい地域に！

やっぱね！地域のもんばあで何かをするのではなく、沢山の方と関わりつながりを持つと違うなってこの頃感じてます。今地域でやりゆう女性のおしゃべり会はえい集いやと思うので続けていって欲しい。

うちの孫も、将来帰ってきてくれんろうかと思ひながら頑張っています。

## マッカーサーに連れていかれる

お父さんは21歳、私は19歳で結婚しました。百姓もなんちゃあしたことがなかったけど百姓の嫁になりました。(笑)

終戦になって、「はように結婚せんとアメリカのマッカーサーが東京に来ちゆうき、連れていかれる」というて親が結婚を早めたんです。お父さんは兵隊で海軍航空隊に行っていました。私らは戦争を経験しているんですよ。結婚してからは、生真面目に働く夫を陰ながら支え育児はおおかた私が担当やったね。

昭和55年、現在の会社も「俺は一人でもやる！」と言い出し始めたんです。本当にいつもびっくりさせられます。あの頃は不景気の最中で、梶原町の大工さんが支えてくれんかったら今はなかったね。従業員にも本当に感謝しています。現在は息子、孫が後を継いで頑張ってくれてるので嬉しい。私は1日でも長く美味しいものを作ってやるのが生きがいです。

## コマーシャルはよう出さんけど

僕は昔から写真と車やバイクが好きで、高速道路がほとんどない頃から四国をまわったり、高い山へ友達と一緒にいたり、写真を撮ったりしていました。撮った写真は県内外のいろいろな施設に置いてもらっています。和田城や雲の上の温泉にも置いてあるんですが、知っていますか？(笑)

写真を持って行って、飾ってもらえると嬉しい。やっぱり、良い所は見てもらって、人に来てもらいたい。それには「こんなあるき来て」って言っても、言葉ではなかなか伝わらないので、写真を役場とかに置いて知ってもらえたら良いと思っています。コマーシャルはお金もかかるし、なかなか出せないで(笑)

## 先輩後輩が頑張りゆうき、自分も

僕が梶原町に戻ってくる前、高知市内にいた時は「梶原町」が新聞やラジオによく出ていました。先輩方が梶原町を盛り上げているので、自分も引き続いて頑張らないと！と、今はそう思っています。

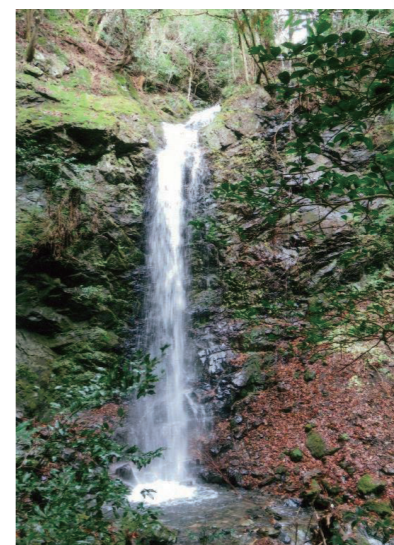
梶原町が好きです。自分の故郷だし、人柄も良いし、滝・奇岩・桜など、たくさん見所があります。忙しくてなかなか出来てないけど、自分が出来る範囲で取り組んで、これからもいろんな人に見てもらいたいと思います。



丸野公園の整備



▲ 源氏駄馬から見た宇和島方面  
(天気の良い日は海が見える)



▲ タルゴ山の滝

まつうらひろむ  
松浦博務さん(66)

昭和26年生まれの66歳。梶原町本も谷出身、25年前に地元にもどる。タルゴ山の滝の整備を検討したり、丸野公園への道を草刈りなど積極的に取り組まれており、さらに史談会やオーナー制度の田んぼを手伝ったりと、梶原町のために色々な活動をされている方です。

町内の見どころを教えていただいたり、観光資源の開発やPR構想について語られることの多い松浦さん。その活力の源泉に迫りたく、お話を伺いました。





# 掲 示 板

## 赤い羽根共同募金 活動報告



平成 28 年度（平成 29 年 2 月末現在）の募金総額は、

**¥834,848 円**です。

災害義援金につきましても多くの浄財が寄せられております。  
心より御礼申し上げます。

### 実施事業

今年度は 6 事業が行われました。

- 独居高齢者訪問事業
- 地域支え合い事業
- まごころ弁当事業
- 無料法律相談事業
- 災害ボランティアセンター体制整備事業
- 地域活動推進事業（旧ミニいきいきふれあい事業）



## 地域活動推進事業 みなさんの地域でも利用してみませんか？

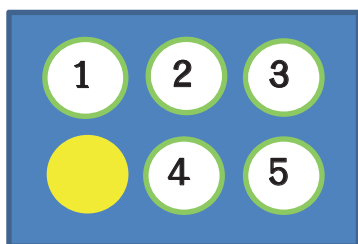
この事業は 3 万円を上限に住民の交流を促進する活動を助成しています。今年度から、部落内での活動だけでなく、地域のサークル活動でも助成が受けられるようになりました。

- 子育て応援活動の中でご飯を作りたい！
- 地域を盛り上げる集まりで食事会をやりたい！
- 地域のみんで使えるものを購入してみたい！

そんな「やりたい！」に助成金が見えるかもしれません。  
お気軽に梶原町社協までご相談ください。 担当：前田



### 表紙の写真について



- ① 四万十街道ひなまつり  
久岡国子さん（松原区）のお家のひな人形
- ② 四万川いきいきでのバザーの様子
- ③ 鳥の巣に入ったヒナ人形（久岡国子さん）
- ④ 老人大学で 3 金融機関にも協力して頂き特殊詐欺寸劇を披露！
- ⑤ 晴れわたる梶原で親子水入らずの時間を過ごす河野さん

「ゆすまいる」では表紙に載せる写真を募集しています。最近みなさんから声をかけて頂けて嬉しいです、ありがとうございます。引き続き、構わない方は、出会った社協職員に声をかける、又は社協までお問い合わせください。 担当：宇賀・西村・中越（悠）

